

一般財団法人日本地域開発センターが主催する省エネ住宅のトップランナーを選定する表彰制度「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 2018」に於いて、弊社単独で応募し『特別優秀賞』を授賞致しました。弊社も加盟しております『くらしこく(省エネルギー住宅推進協議会 四国支部)』に於いては『7年連続』で受賞致しました。(『優秀賞』・『特別優秀企業賞』を受賞致しました。)



「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」は、省エネルギーやCO2削減等へ貢献する住宅の普及と質的向上の促進を目的に、建物外皮と設備を一体とした省エネルギー性と、販売実績や設計・施工における標準化といった普及性を評価し、優れた住宅を表彰する制度です。

具体的には、(1)外皮・設備の省エネルギー性能値、(2)多様な省エネルギー手法の導入および健康・快適性などの取り組み、(3)省エネルギー住宅の普及への取り組みの3つの視点を基準に評価し、優秀と認められた住宅が表彰されます。

弊社は、(株)LIXILのスーパーウォール工法(高気密・高断熱・高耐震構造)を全棟標準としながら、設計手法にも重点を置き、国内トップクラスの断熱性能推奨水準 **HEAT20 G2** を実現させています。

この受賞を機に、さらなる研鑽を積みZEHビルダーとして省エネルギー住宅の更なる普及を図り、日本の住宅の高性能化を促進し、豊かで快適な住生活の未来に貢献してまいります。